

菅野のりまさ

かんのの

新人

構想力と実行力
温故知新
新石岡へ

討議資料



取組みたい8つの政策

POLICY

01 石岡の歴史資源復活

POLICY

02 出生・子育て支援

POLICY

03 農業の打開と自然の活用

POLICY

04 中心市街地の賑わい演出

POLICY

05 安全で安心なまちへ

POLICY

06 再教育の充実と雇用の充実

POLICY

07 商工業の持続的発展

POLICY

08 身近なことを早く確実に解決

かんの菅野のりまさ プロフィール

- 昭和42年10月生まれ 55才 血液型:B型
福島県いわき市の生まれ育ち 妻が茨城県出身
平成14年4月より石岡在住(20年)
- 磐城高校時代3年時に甲子園出場
- 茨城大学人文学部社会科学科 経営を専攻
- 三井生命保険会社で12年勤務
営業所長として
秋田→土浦→柏→宇都宮→神戸→石岡
- 2003年1月より独立開業
- 株式会社グローリレイション・代表取締役
菅野労務FP事務所・所長
- 2013年～茨城県社労士会理事として
広報委員長はじめ様々な委員長職を経る
- 2021年～茨城県社労士会理事、総務委員長
(在職2年弱で30規程に及ぶ制改定実現)

- 家族:妻、長男27才、長女22才
- 保有資格:社会保険労務士、CFP(上級FP資格)
FP1級技能士、厚労省認定ISO講師
- 社会参画活動:(社)石岡青年会議所・副理事長
石岡商工会議所青年部・副会長
石岡市倫理法人会・副会長
石岡市立石岡中学校・PTA副会長
福島県立磐城高校野球部記念事業の実行委員会メンバー



菅野のりまさ後援会 連絡先

〒315-0033 茨城県石岡市東光台3-10-9-2F
TEL 0299-56-4311 FAX 0299-56-4887
✉ norimasa.kan@gmail.com

取組みたい8つの政策

POLICY 01 石岡の歴史資源復活

石岡の歴史資源を最大限に活かします。石岡市は、奈良・平安時代には東国の大国と言われ、貴重な国指定の史跡がありますが、目に見える建造物が無くアピール力に欠けます。現に復元保存している佐賀県の吉野ヶ里遺跡と青森県の三内丸山遺跡は、全国から歴史ファンをはじめ多くの人々が途切れなく訪れ、交流人口の拡大に大いに貢献しています。目で見て分かる面白さ、インパクトの大きさは格別です。文化庁の施策などを活用して取り組むべきです。まず草地の史跡になっている国分尼寺の復元、次に国衙跡復元、国府跡など、できることから進め、結果として来ていただく人の拡大を見込みます。

POLICY 02 出生・子育て支援

出生率アップには、短期・中期・長期の3つの時間軸からの検討が必要となります。短期的には直接的な財政支援、安心して子育てができる経済的支援です。中期的には子ども居場所作りや、妊婦相談など親の孤立を避ける支援が必要です。長期的には医療の安定化、産婦人科の誘致、医師の誘致、小児科医療成などが重要課題となりますが、課題と向き合い、必要な手立てを講じます。また石岡市への移住支援も重要なテーマです。移住ツアーや民間団体との連携を着実に進め、家賃補助、定期代補助、高速バス補助などの既存の施策を検証し、必要なら拡充等を提案します。空き家対策も重要なキーワードとなりました。安心して子育てができる環境維持のため、抜かりなく対策を検討します。

POLICY 03 農業の打開と自然の活用

食を支える農業経営の支援は、食生活を安定させるためにも重要です。後継者問題の解決、新たな農業従事者の発掘、そして大農園化の支援など、様々な手は打ってきたと推察します。それらが十分だったかの検証と、必要な手はさらに傾注させる必要があります。当地の豊かな自然の恵みを活かし、本州一の農業県の茨城県中央に位置する石岡市で、やりがいのある農業について懸命に考えます。そして筑波山麓の豊かな資源をプロ仕様様のサイクルロード利用などの工夫を通じて、交流人口も拡大させたいと考えます。

POLICY 04 中心市街地の賑わい演出

石岡中心市街地にはNHKテレビなどで放送された看板建築があります。看板建築も築90年となり、建替に国の支援制度が準備されていますので活用したいものです。昭和の雰囲気のある看板建築を活かした「昭和の町並みづくり」を進めるとともに、懐かしい昭和の香りのイベ

政治は実は身近であり、自分たちがまちを変える必要があります。石岡市の衰退を黙っていいのでしょうか。諦めてはいけません。本当の勝負はこれからです。石岡の魅力を再確認して誇りを取り戻し、そして魅力をPRする工夫が必要です。石岡市活性化のために以下8点を提言します。

ントを開催するなどハードとソフト両面の対策を提案します。現に、大分県の豊後高田市では、「昭和の商店街」の活性化事業で大いに賑わっております。石岡でもチャレンジし、新複合施設建設との相乗効果を見込み、多くの人々が集える場所に化ける可能性があると考えます。

POLICY 05 安全で安心なまちへ

災害が多い我が国ですが、ハザードマップから明らかになっている危険地域の防災が十分か検証し、対策を提案します。東日本大震災の時、想定を超えた災害だったとの声に接しました。災害に遭遇してからでは遅いのです。また、生活圏でも歩道や道路が狭く危険な箇所がそれなりにあります。細い危険な道をご老人が歩いているようなシーンは無くしたいと思います。危険を可能な限り廃除して、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

POLICY 06 再教育の充実と雇用の充実

リスキリング教育やリカレント教育においては、本物の学びを提唱してまいります。副業・兼業をしながら経験値を高め、世に必要な人材となることを支援します。本当に学びたい人、本物志向は集うものと推察します。今までの経験をベースに教育と雇用の充実について提言いたします。

POLICY 07 商工業の持続的発展

石岡に根差す中小企業の発展は、地域発展や地域活性の重要キーワードです。商工会議所との連携を深めながら、知恵やノウハウを結集させ、中小企業の発展を支えます。資金アップは現在の大きなテーマです。資金をアップは経営者の責務でもあります。それも一過性ではなく、持続的に資金アップを果たさないとはいけません。そのためには生産性のアップです。地域資源認定を受けている産物もそれなりにあるので、そうした事業者は人件費の補助は当初あっても良いでしょう。場所や時間を超えられる効果的な手法で生産性をアップさせ、果実として資金アップを果たします。

POLICY 08 身近なことを早く確実に解決

どんなに立派な政策を謳っても、実現できないと意味がありませんし、身近なところの解決を確実に実行したいです。小さな身近な解決を大切にして、市民の皆さまのお役に立ちたいです。